

多剤耐性緑膿菌（MDRP）の終息のお知らせ

2015 年末より当院救命救急病棟において複数の患者様から断続的に多剤耐性緑膿菌が検出され、入院中の患者様、ご家族の皆様をはじめ多くの皆様に、多大なご迷惑とご心配をお掛け致しましたことに衷心よりお詫び申し上げます。

その後、行政や外部専門家の方々のご指導・ご協力を仰ぎながら、院内感染防止対策委員会および感染対策チームを中心に職員が一丸となって対応に取り組んでまいりました。救命救急病棟の環境整備、職員の感染予防策の強化、抗菌薬の適正使用などの徹底化をはかるとともに、患者様・ご家族の皆様・お見舞いにいらっしゃいました皆様、周辺医療機関の皆様、行政など様々な皆様のご協力とご理解を賜りつつ、一時的に救命救急病棟での受け入れを制限し、患者様の個室管理を行うなどの対策を講じ、2016 年 4 月 27 日より新たな陽性者が検出されなくなりました。ここに救命救急病棟における多剤耐性緑膿菌の感染の終息を宣言し、平常の病棟運営を再開できますことをご報告させていただきます。

今後こうした感染症を繰り返さないためにも今回の経験を踏まえ、院内感染対策の強化の取り組みをより一層しっかりしたものとして継続し、地域における当院の役割を果たせるよう努力してまいります。

2016 年 6 月 9 日

国立病院機構災害医療センター

病院長 高里良男